

経済・雇用分科会の議論のまとめ

今後の経済・雇用環境のあり方

市民のアクティビティを高め、市民ニーズに合った、また、札幌の魅力を高めるような経済活動を図る

チャレンジとセーフティネット、ともに対応できる環境づくりを図る

取組みの課題

将来を見据えた産業振興のビジョン・戦略

札幌の新たなまちづくりの取組みの積極的発信

小さな企業や起業家を支援する仕組みづくり

困ったとき、失敗したときの支援体制

重点的な取組み

札幌独自の魅力づくり・情報発信の強化	<p>札幌独自の芸術・文化・祭りなどの積極的な活用と発信</p> <p>大通公園、街なみ、季節感ある山なみなど美しい魅力的な景観づくりと使い方の工夫</p> <p>地域に目を向けた取組みによる札幌ブランドの育成</p> <p>札幌の魅力をノウハウや生活スタイルも含めて札幌ブランドとして確立・発信</p>
小さな企業・起業への実効性の高い支援	<p>中小企業、零細企業は、多種多様であり、ひとくくりではなく、きめ細やかな支援が必要</p> <p>元気基金は、長期短期の資金需要に対し、リスク負担を十分に考慮した柔軟な制度設計で行うことが望まれる</p> <p>中小企業支援センター等産業振興策を実施する市や財団などの主体の役割を点検、見直し、相談支援機能の実効性の向上に努める</p> <p>企業経営者の情報と自己啓発トレーニングを可能にする仕組みの構築</p>
市民や地域のニーズに合った産業・雇用施策	<p>ニーズが高まる健康・福祉・医療分野の産業育成</p> <p>芸術・文化・祭りなどの積極的な情報発信を通じた産業、雇用の創出</p> <p>人材集約型の地域ビジネスの中での多様な雇用機会の創出</p> <p>特に女性、高齢者、障がい者、母子家庭などへの就労支援機能の強化</p> <p>市・道・国との連携のもと労働、職場環境に関する相談支援機能の強化と体制の整備</p>

取組みに必要な視点

- 民間も行政も、コミュニケーションを密接に図るとともに、発想の次元を変えていく
- 「リスク負担」についての情報を共有する
- 新たな人材の投入などにより、民間も行政も、人づくり・組織活性化を図っていく
- 北海道と札幌市の連携した取組みで相乗効果を図っていく
- 行政の専門家ネットワーク情報を活用する。また、行政サービスなどの質の向上を取組みに活かしていく
- 産業振興策を実施する市や財団などの主体の役割を点検・明確にする
- 施策の成果をしっかりと評価して産業振興策に積極的に取り組む
- 国際化を意識するとともに、男性女性共に生きいきと暮らせるまちにしていく